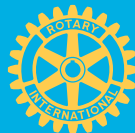




人類に奉仕する  
ロータリー

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ



# 会報

2016 ▶ 2017  
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **友情の和を助け  
奉仕の和を助けよう**

会長 / 渡邊裕久 幹事 / 高橋理佳

## プログラム

- 本日  
来賓卓話「松浦武四郎と留萌」  
留萌市教育委員会 生涯学習課生涯学習係  
嘱託 福士 廣志氏
- 次週予定  
来賓卓話「道内交通事故の発生状況・実態」  
留萌市交通安全協会 専務理事 瀧口 昇氏

No. 2733

第32回 3月1日

出席報告

前例会

会員総数.....36名  
出免会員.....5名  
出免出席.....5名  
基準会員出席.....31名  
出席率.....100.00%

前々例会

第29回 2月8日

欠席会員.....14名  
内メイクアップ.....3名  
修正出席率.....74.29%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告 .....

1. ライオンズクラブ国際協会331-B地区第63回地区年次大会式典・晩餐会の案内をいただきました。日時5月13日(土)13時30分、場所は留萌市文化センターにて開催されます。

- ・夜間例会初出席です。 関野会員
- ・久しぶりの出席です。 松村会員
- ・慶祝会員の皆様おめでとうございます。 嶋原会員



## 幹事報告 .....

- ・赤平RCより3月例会案内を受領しました。

- ・先週、タイムスケジュールを狂わせて申し訳ございませんでした。 高橋幹事
- ・中央スーパーをよろしくお願ひします。 辻本会員



## ニクニクBOX .....

- ・慶祝会員の皆様おめでとうございます。 渡邊会長
- ・古希のお祝いありがとうございます。 高田会員

- ・ボードでジャンプして肋骨を骨折してしまいました。渡部先生にお世話になり、ありがとうございました。 青山会員
- ・良い事がありました。いつも富丸ご利用ありがとうございます。 佐々木会員
- ・皆さん、風邪をひかないように気を付けて下さい。 福士会員
- ・少し良い事がありました。 大嶋会員
- ・皆さん、たくさんのBOXありがとうございます

ます。うれしいので私も入れます。

櫛井会員

- 本日はご利用ありがとうございます。

道元会員

- 本日はありがとうございます。

中出親睦活動委員長

前 回	527,600円
今 回	25,000円
累 計	552,600円



## プログラム……………

### ～創立記念夜間例会～

「クラブ入会からの思い出」

高田 潔会員

まずは、古希のお祝いありがとうございます。クラブ入会からの思い出として、3点お話いたします。1点目は入会時、2点目は幹事として、3点目は平井会長年度の広報委員長の時のことをお話いたします。

私は昭和55年7月2日入会で、中川会員など7名の会員にて入会しました。現在その仲間も中川会員を残すだけとなってしまいました。入会時の会長は坂井清会長で、幹事は平井誠治会員でした。入会当時の会員数は96名で、クラブの予算も1,300万円ほどありました。当時のスマイルBOXのお願いの用紙をコピーして資料として入れています。当時は、会長が就任祝いとして30,000円、副会長が20,000円取られております。

次に幹事の年度ですが、平成5年に深瀬会長の下で幹事を務めさせていただきました。その当時の委員会構成と予算書も資料として付けていますが、この頃は会員数111名、総予算が何と21,422,400円と2,000万円を超えておりました。委員会構成も委員会が多く、職業奉仕委員会と社会奉仕委員会が各々4つの小委員会がありました。この頃は愛好会活動も活発で、8つの愛好会があり、ゴルフ愛好会、ゲートボール愛好会、麻雀愛好会、囲碁愛好会、カメラ愛好会、フィッシング愛好会、湯豆腐会、茶道愛好

会などがありました。愛好会の紹介として特色が書かれていたので紹介します。まずはゴルフ愛好会ですが、特色「68名のエンジョイゴルフ、腕より口で勝負する！数が自慢の愛好会です。皆の参加で楽しく遊ぼう。」次に、ゲートボール愛好会、特色は「ヤングシニアで行こう！豊かな老後が約束されます。」です。麻雀愛好会、特色「名手と凡手の差は、いやらしい牌を一廻りか二廻り我慢するか否かに懸かっている。人生即忍耐。」囲碁愛好会、特色「会長以下西欧型美男教授が、白黒城の攻防秘策を伝授とか。」カメラ愛好会、特色「撮影会のモデルは必ず美女です。手ぶらでも参加できます。こんな良い愛好会はまたとあろうか。」フィッシング愛好会、特色は「釣り糸に、騒然たる世情を忘れて、一刻萬金の迷想。ナニを釣るにも、サカナの心を知らなくては…いい気分。」湯豆腐会、特色「ロータリーはこれでいいの、日本の将来は、…加えて、あっちの悩み、こっちの話と…ゴチャまぜで真面目な集い。」茶道愛好会、特色「数ある愛好会の中で、最も上品な集いです。紳士の集いです。ひとときの静寂を楽しもうではありませんか。」となっています。大変楽しい愛好会活動がありました。

次に3つ目の初めての委員長として指名された広報委員会の活動です。1984年～1985年度の平井さんが会長をされた年度で、渡部先生が幹事とございました。委員会構成は、委員長の私と、委員には、久保田八十八会員、久保田水産の社長さん。北光電気の社長の福田信也さんの二人でした。つまり委員会は一人でやりなさいとの事だったと思います。委員会の重点目標として、ロータリーの奉仕の理想を、地域社会の人々に認識してもらうため、あらゆる機会を通じて、ロータリーおよび当クラブの活動内容を広報する、としていました。活動報告として、ロータリーの友に記事を掲載、として6回掲載されました。1984年10月号、神居岩公園でRACとの合同早朝例会と清掃奉仕。(萌寿園の花壇に花300本寄贈)。11月号に、第4回創始者杯争奪ゲートボール大会主催。RACと7月留萌神社祭で150キロの樽みこしをかついて参加。

12月号にロータリー会員夫人の集い開催。1985年3月号には、特殊学級の子らを招きクリスマスパーティー開催。6月号には、手をつなぐ親の会に寄付金とふれあいパーティーでのビデオテープ寄贈、RACがみどり保育園に紙芝居を寄贈。です。また、「あなたのために」のリーフレットを作成しました。目的は、例会出席のゲスト、ゲートボール大会参加者に留萌クラブを理解してもらう為で、会員にも配布しました。内容は国際ロータリーのテーマ、四つのテストとロータリーソングです。1985年2月に地元新聞社2社に国際ロータリー創立80周年、留萌クラブ創立24周年記念特集掲載。地元新聞社2社による「毎月のロータリーコーナー」の掲載。これは日日新聞と日刊留萌新聞で、日日新聞はタダでしたが、日刊は月2000円取られたと思います。また地元新聞に記事を掲載と言う事で、合計27回の活動記事を掲載して頂きました。皆さんのお手元の資料にコピーがあります。前にも言いましたが、ロータリーの友には投稿すると掲載してくれますので、皆さんチャレンジしてみてはいかがでしょうか。

## 佐藤 潔 会員

私は、昭和58年5月に101人目の会員として入会しました。その時の会長は寺西保博氏、幹事は大沼哲郎氏でした。入会当時は、例会の内容が何を話しているのかまるで理解できませんでした。その時は、大変なクラブに入会してしまったと戸惑いを覚えたものです。しかし私に暫くして落ち着きを感じさせたのが2つあります。一つは親睦委員会に所属し、その時の委員長が第20代会長の坂井清さんで、当時は毎月1回委員会を開催し、翌月の例会内容とその目標そして担当者を決めます。その後は会員同士の交流を深め、ここで例会内容と会員を知るために非常に役立ちました。二つめは、炉辺会合です。現在は情報集会と言いますが、15名程度の会員で与えられたテーマで討論した後に、少人数の会合なので、普段話も出来ないような留萌の名士の方々が気軽に話しかけてくれて、ロータリーの事、世間の事、職業の事などを話して

くれました。この様な事があって、次回お会いした時には気軽に挨拶が出来るようになりました。また、新会員の歓迎会をして頂いた時に、クラブメンバーの中に仕事仲間や友人が数名いまして二次会に誘われた時、一緒に来てくれたのが香城先生でした。改めてご挨拶いたしますと、知っていますよと言われ、その時思ったのが普段の行いが大事だなと言う事と、先生は私に対してどの様な印象をもっているのかが非常に気になりました。こうして人を知る機会の輪が広がり、上下隔たりなく溶け込んでくれて、ほっと出来る一時でした。大先輩に懇意にいただき、道でお会いしても気軽に挨拶が出来るようになり、クラブに入会させていただいて良かったと思ひようになりました。ロータリーの目的の一つに異業種との交流がありますが、まったくその通りだと実感しました。この様な機会でもロータリークラブの事が少しづつ理解でき、馴染めるようになりました。

留萌ロータリークラブに於いて、私にとって大きな出来事が二つありました。一つは留萌クラブより初めてガバナーを輩出した事です。

2510地区ガバナー指名委員会より指名され、富山ガバナーが誕生しましたが、そのガバナー事務所のスタッフの一員に指名された時です。私は入会して日も浅く、この様な大役は無理と富山先生にメンバーから除外してくれるようお願いしましたが、将来の人生勉強になると論され、任務に就くことになりました。メンバーは代表幹事に寺西保博氏、幹事に井内球雄、大桶修一、越野俊興、立山一三、道重幸、近藤良一(札幌モーニング)、西條正博(札幌)の各氏と私佐藤潔の9名、そして財務委員長に対馬良行氏、事務所会計に澤井定七氏のメンバーで総勢11名でした。ガバナー事務所を留萌在住のメンバーで立ち上げ、場所は旧加地外科医院を借用しました。私に与えられた仕事は、地区内の出席管理と文書管理でした。そして地区大会の準備の手伝いでした。これなら出来ると思ったのですが、とても大変な事でした。地区内の各クラブ、日本支局、R I等から送られてくる書類など、特にR Iからの書類は当然英文です。

これはガバナーに確認して分類していただきました。書類は二部屋に及ぶ程でした。出席に関しては各クラブの出席報告と会員の増減等を月々にまとめて、ガバナーがガバナー会への報告書の作成等があり、これが毎日の事で大変でした。

地区大会は、札幌幌南クラブがホストを引き受けてくださり、スタッフ全員が2週間に1度大会が開催されたホテルロイトンで打ち合わせを行い、この地区大会の大会幹事を務めてくださったのが、羽部大仁パストガバナーです。この地区大会の記念講演は寛仁親王殿下で、演題が「我が国の福祉」でした。この時の警備は大変なものでした。私にとってこの時が、ロータリーを知る一番の機会でした。他クラブの方々との交流で紹介された方々、中でも塚原パストガバナーはまだ会長にもなっていない時で、後で富山ガバナーは、この人は将来ロータリーを背負うような人になりますよと教えてくれました。まったくその通りで、ガバナーとして活躍されました。

1993年7月、ガバナー公式訪問が始まって間もなく、丁度当別クラブ訪問時に北海道南西沖地震が起き奥尻島が壊滅状態になり、大変な状態になったのを記憶しています。富山ガバナーは地区内関係委員会と地区事務所の連絡を密にして、各ロータリアンより協力いただいた金額の一部を青少年のために支援し、その総額は約6,500万円になります。色々突発的な事が起きましたが、翌年8月にガバナー事務所を解散整理する事が出来ました。

二つ目は、副会長に指名された時です。この年度は、会長が立山さん、幹事が私でした。指名委員会の準備完了した時に、松本さんが会場に一番乗りしその時発した言葉が、「現会長幹事は意見を言うことは、一切許されない。」その意味は後で判りましたが、私が目の前で副会長に指名されました。必死に辞退しましたが、指名委員会の決定は絶対である、委員会以外の者は口を挟むべからず。との事で押し切られ、委員会終了後に二次会に誘われましたが、お断りいたしました。40周年の節目に当たる年で、節

目の会長は大変である事を30年の会長の渡部先生を見て覚えておりましたので、自分には無理と思い悩みました。

自分の意に反して時の流れは早いもので、40周年の実行委員会が立ち上がり、実行委員長に坂井清さん、総務委員長に井内球雄さん、そして各委員長が決められ委員会が頻繁に行われました。この時の記念事業委員長が高田潔さんです。記念事業として市立病院入口にあるモニュメント「和らぎ」の石像を市立病院に寄贈しました。そしてその時一番頭を抱えたのが、韓国論山クラブの招待でした。留萌クラブとしては会長、幹事、河パストガバナーの3名の予定でしたが、最終的には総勢35名の大幅増員となりました。これを担当したのが当時論山クラブ大好きな方で、千歳空港到着から帰るまで大変な接待でした。朝食は2日間連続の朝食会を開催し、私の両隣はパストガバナー夫妻と会長夫妻が座り、言葉が通じないと困ったと思いましたが、河パストガバナーは日本語が上手でとても助かりました。この時の司会者は韓尚珠さんで以前より知っている方ですが、これを機にさらに親しくお付き合いをするようになりました。

40周年記念は私にとって二度と味わう事のない出来事でしたので、良い経験であったのかなと思っております。この時留萌クラブの会員数は、85名でした。この頃に活躍された会員さんは現在10名の方が在籍しています。そしてこれらの事があり、現在に至っています。

